

令和7年度
新座駅北口土地区画整理事業

新座駅北口駅前広場 基本計画及び基本設計の歩み

新座市 まちづくり未来部
新座駅北口土地区画整理事務所



はじめに

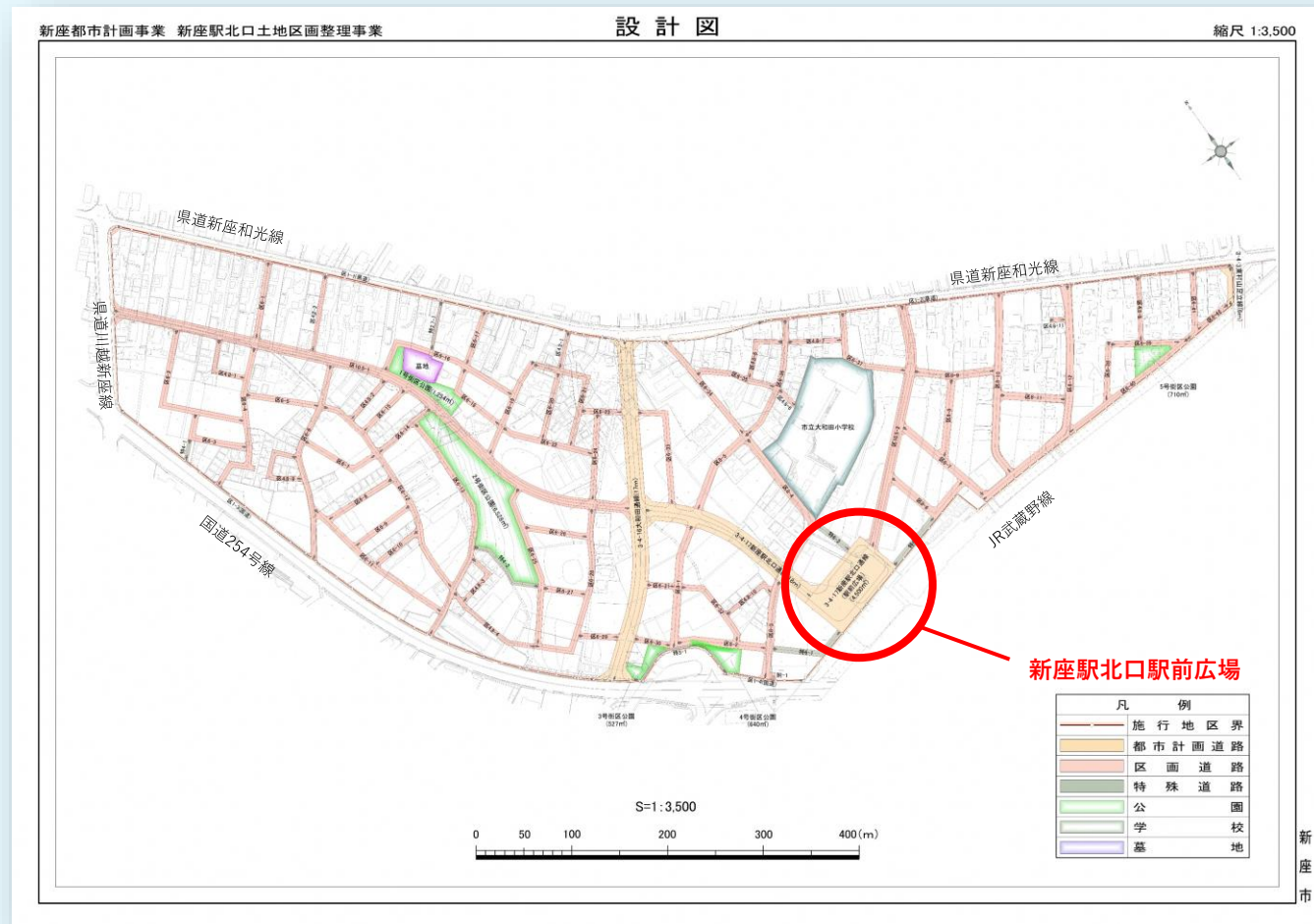
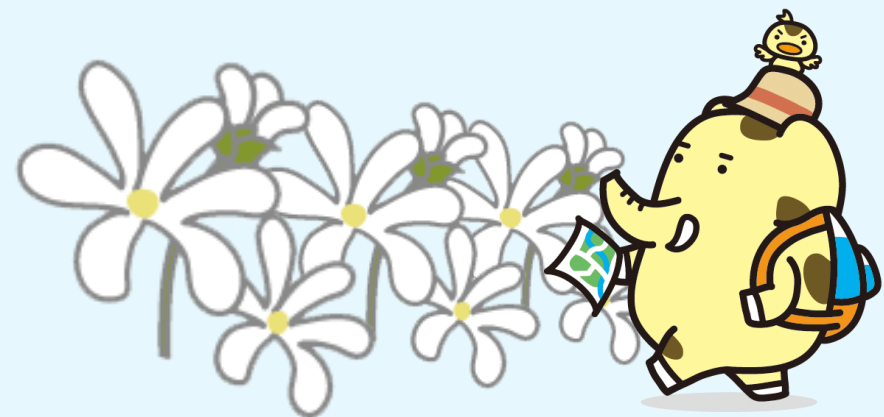
新座駅北口土地区画整理事業の施行地区について

本地区は、JR武蔵野線新座駅北口に接して位置し、地区の西側に国道254号、北側に一般県道川越新座線、南側に主要地方道さいたま東村山線及びJR武蔵野線、東側に一般県道新座和光線が接する、鉄道及び国道、県道に囲まれた面積約31.6ヘクタールの地区です。

土地区画整理事業の目的

本地区は、JR武蔵野線新座駅の北口に位置し、地区内には多くの農地・山林が散在する一方、ミニ開発等による無秩序な市街化が進み、生活環境の低下や防災上の支障をきたしています。

本事業は、道路や公園等の公共施設の整備・改善を行う事で、無秩序な市街化を抑制し、災害に強く安全で快適なまちづくりを行うとともに、本市の新たな発展の核となるべく市街化形成を図り、住民の生活向上と公共福祉の増進に資することを目的としています。



現在の事業進捗状況と 今後の進め方について

本事業は平成21年に事業計画決定を受けて、平成25年3月の仮換地指定後に工事に着手しました。

令和6年度末時点では事業用地対象件数の約70%を確保し、道路築造工事は全延長の約50%が完成しました。

現在、地権者の皆様の御協力により駅前広場周辺の用地の確保が進んでいます。

当初計画では事業の最終盤に駅前広場及び都市計画道路を整備する計画でしたが、駅利用者の利便性の向上や事業効果の更なる増進のため、駅前広場・都市計画道路を先行整備します。



本事業では
これまでに
4,018mの
道路を
築造しました！



区8-4号線
(令和3年度竣工)



区6-39号線(左) 区6-38号線(右)
(令和4年度竣工)



区10.5-1号線
(令和6年度に路線全体の約半分が竣工)



34街区 擁壁整備と道路築造の様子
(道路は現在施工中)

駅前広場の本格的な整備にむけて①

～駅前広場の暫定整備～

駅前広場の本格的な整備完成までには計画の検討・設計・関係機関との協議等の時間を要するので、まずは暫定整備による利便性の向上を目指し、令和7年3月に神明神社方面からの車両の通り抜けを開始しました。

- 令和5年度 暫定整備に向けた埼玉県警察本部との協議実施
- 令和6年度 暫定整備に関する埼玉県警察本部との協議完了
暫定整備を開始し、令和7年3月に開通



暫定整備前(令和5年6月 撮影)



神明神社方面

暫定整備後の駅前広場



暫定整備後(令和7年3月より通り抜け開始)

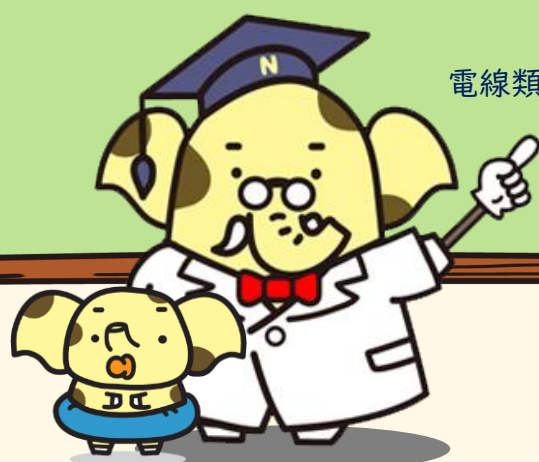
駅前広場の本格的な整備にむけて②



～本整備に向けたこれまでとこれからの取り組み～

現在、駅前広場の本格的な整備に向けて計画の検討や関係機関との協議等を進めています。

- 令和4年度 電力・通信事業者・埼玉県警察本部と電線類地中化に関する協議実施（継続中）
- 令和5年度 関係各課・関係機関との協議実施（継続中）
- 令和6年度 JR東日本との協議実施（継続中）
- 令和7年度 基本計画・基本設計業務委託実施（継続中）
警察協議（基本設計段階協議）実施・完了
- 令和8年度（予定）実施設計業務委託実施
警察協議（実施設計段階協議）実施
- 令和9年度（目標）駅前広場整備工事発注・工事着手



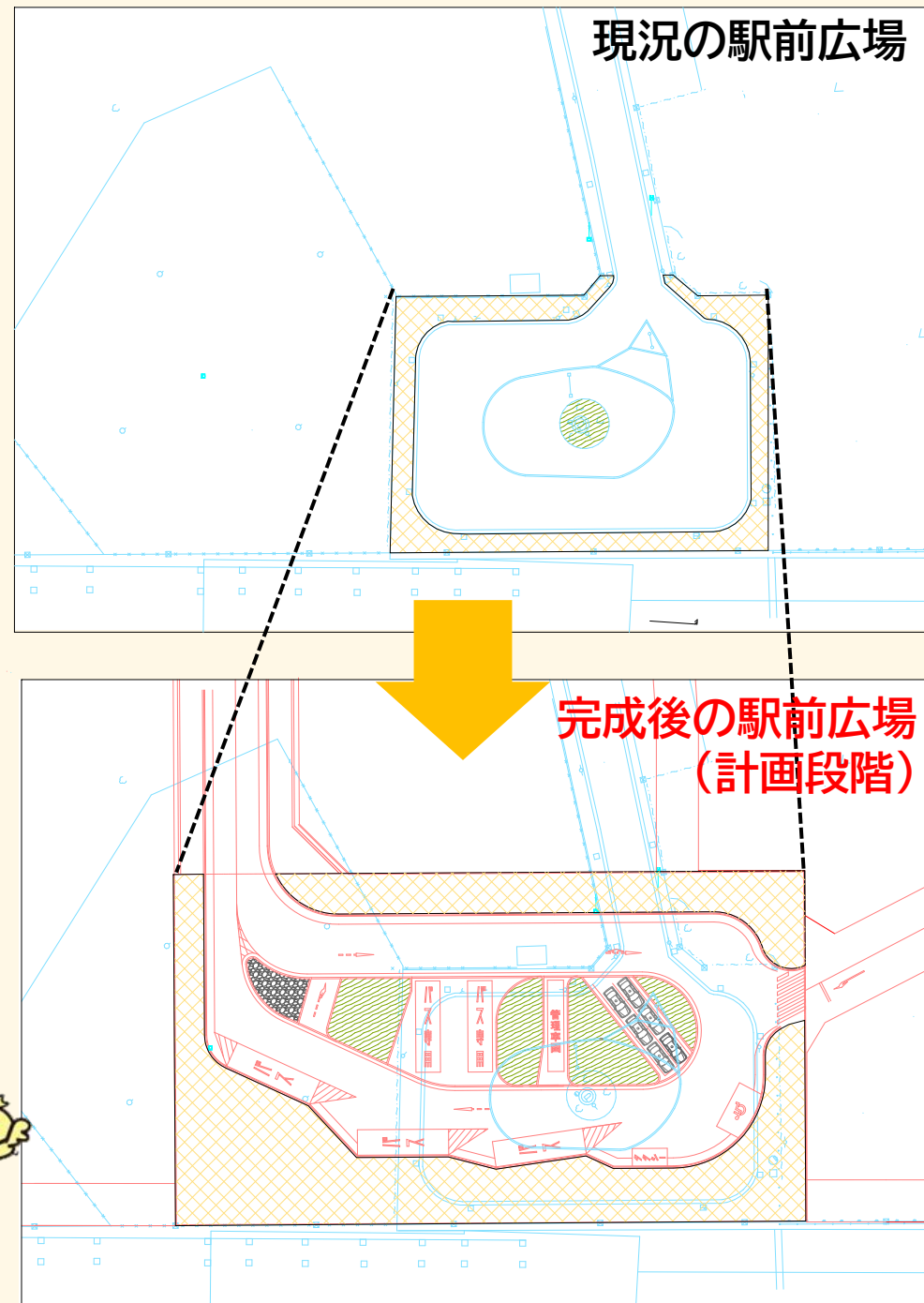
基本計画及び基本設計の業務概要

令和7年度から取り組んでいる基本計画及び基本設計等業務委託（以下『本業務委託』という）では、令和8年度の駅前広場大規模改修工事に向けた実施設計業務を進めるため、以下のような業務を行っています。

- 現地測量
- 交通量調査
- 整備方針（デザインコンセプト）の検討
- 概略設計図の作成
- 関係機関等
（区画整理審議会・埼玉県警察本部・障がい者団体等・教育機関・庁内各課・路線バス事業者・JR東日本・電気通信事業等）
- 3DモデルやVRデータ作成
- その他、実施設計に必要な様々な基礎データ・資料の作成

さらに、令和7年度からは駅前広場基本設計と並行して、駅前広場とその周辺道路における水道・下水道・ガスなどのインフラ整備工事や詳細設計を順次進めております。

現況の駅前広場の面積は1,925㎡であるのに対して、整備後は**4,500㎡（約2.3倍）**に拡張する計画です！



本区画整理審議会及び各種団体等との協議

基本計画では新座市の玄関口としてふさわしい駅前広場とするため、立場が違う方々からさまざまな視点の意見をもらうことでより良い計画が反映できると考え、関係機関や関係企業・各種団体の方々と意見交換を重ねながら計画を進めてきました。

令和7年8月22日には、市長や本区画整理審議員とともに千葉県野田市へ行き、将来の新座駅と同等の大きさを整備された新しい駅前広場がどのような視点で設計されているかなどを現地視察しました。審議員の皆様からは「**維持管理をしやすい材料選定を**」「**大和田の歴史や伝統を表現したテーマに**」など、様々な意見があがりました。

また、ユニバーサルデザイン・バリアフリーを目指し、誰もが使いやすい駅前広場にするため、障がい者や介助者、高齢者等と意見交換を行い、**点字ブロックや手すりなどの施設に関する配置検討**に関するご意見をいただきました。

その他、県警察本部とは自動車の走行軌跡や交通安全に関する協議をしたり、路線バス事業者や学校と運行に向けての意見交換を行いました。



大学・高校・バス事業者との
現地立会の様子



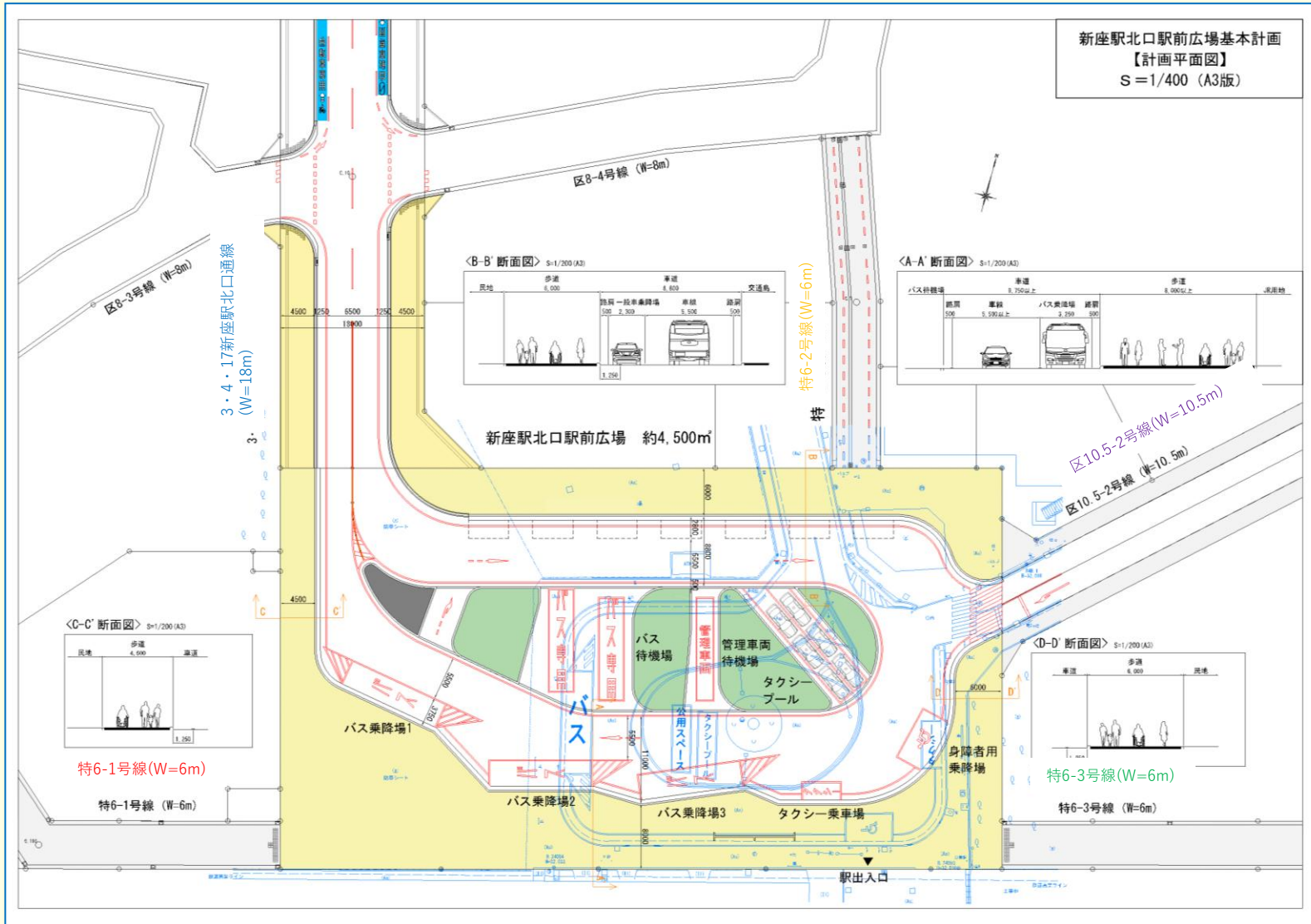
障がい者団体や高齢者との打合せ



第40回 土地区画整理審議会
千葉県野田市へ現地視察に行った時の様子
(令和7年8月22日：愛宕駅(左)野田市駅(右))

計画平面図の作成

下の図は、関係機関や関係企業と協議した結果を基に作成した計画平面図です。



都市計画道路新座駅北口通線と区10.5-2号線の2路線が駅前広場へ接続しており、車両の進入が可能です。くわえて歩行者は、**特6-1号線・特6-2号線・特6-3号線**の歩行者専用道路を通行し駅前広場へ行くことも可能です。

ロータリー内の歩道幅員については西側が4.5m、北側と東側が6.0m、南側が8.0m以上となっており、車道については停車中の車両があっても、幅員を5.5m以上確保できるよう計画しております。

また、タクシー乗降場や身障者優先乗降場を設けたほかに、路線バスが新たな運行ルートとして利用される可能性があるため、バス乗降場を3か所設けています。

広場中央はバス待機場やタクシープールのほか、植栽スペースなどを確保しています。

デザインコンセプト案の作成

関係機関や関係部署との協議、各種団体との調整や本審議会での先進事例の視察後、駅前広場の計画平面図及びデザインコンセプト案を3案作成しました。これらの案に関する評価点や課題・問題点について区画整理審議員の皆様アンケート調査を行い、第41回土地区画整理審議会（令和7年12月19日開催）にて御審議いただきました。

※審議の内容について同ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

(<https://www.city.niiza.lg.jp/site/kitaguchitochikukakuseirisingikai/singikai41kaigiroku.html>)

【A案】時代背景を合わせた、歴史を感じるデザイン

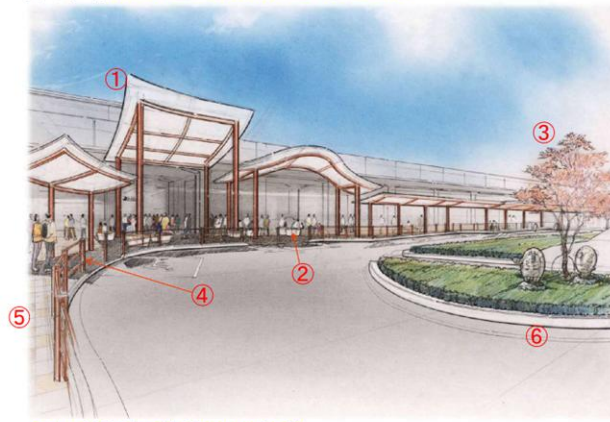


A案で設置する施設のコンセプト

・野火止用水や平林寺などの自然をイメージした、親しみのあるデザイン
 ・「和」をテーマとし、歴史や時代を感じさせる景観を意識
 ・新座駅南口ロータリー・志木駅南口の大屋根とイメージを揃えることで統一感を創出する。

①シェルター	《材質》ガラスと木ルーバーの組み合わせ 《イメージ》雑木林にこもれびが差し込むような印象
②ベンチ	《材質》木の座面・石などの脚 《イメージ》周辺環境との調和
③植栽	《イメージ》「モミジ(市の木)」の中木を植え、武蔵野の面影を創出 ※視察アンケートで提案あり。
④横断防止柵	《イメージ》 ^{りょうあんじがき} 電安寺垣のような格子状の柵⇒和で古風
⑤歩道舗装	《材質》インターロッキングブロック 《イメージ》石の参道を思わせるプレートーン
⑥交通島	《材質》石垣で囲った島の中に「リュウノヒゲ」等の常緑草 《イメージ》歴史・時代・文化を感じるデザイン 《+α》市の象徴となるようなモニュメントの設置 ※視察アンケートで提案あり。

【B案】新たな「まち」を感じさせるデザイン



B案で設置する施設のコンセプト

・大和田に伝わる「鬼鹿毛の伝説」に沿った、「馬」をイメージする色や形のデザイン
 ・明るく爽やかな木陰を創出し、人にやさしい快適な空間を創出する
 ・新座駅南口等とは違い大和田地域をテーマにした「新しいまち」を強調

①シェルター	《材質》夏は日よけ効果・冬はこもれびを感じる膜素材 《イメージ》鬼鹿毛の伝説に登場する馬が立ち上がる姿
②ベンチ	《イメージ》コンセプト合わせた馬蹄型のベンチ
③植栽	《イメージ》「モミジ(市の木)」の中木を植え、武蔵野の面影を創出 「ソツジ」や「サツキ」等の常緑の低木 ※視察アンケートで提案あり。
④横断防止柵	《イメージ》シンプルで自然景観との相性が良いデザイン また、腰掛けられる機能を備えたもの
⑤歩道舗装	《材質》インターロッキングブロック 《イメージ》暖色系で落ち着いた色のあるパターン
⑥交通島	《材質》シンプルな歩道ブロック 《イメージ》緑が多く柔らかい印象 《+α》市の象徴となるようなモニュメントの設置 ※視察アンケートで提案あり。

【C案】活気や賑わいを創出する、おしゃれなデザイン



C案で設置する施設のコンセプト

・お祭りやイベントなど、賑わいや活気に重点を置き人々が交流しやすい駅
 ・学生の利用者が多いことを強みに、待ち合わせや勉強、ランチなどがしやすい空間を作る

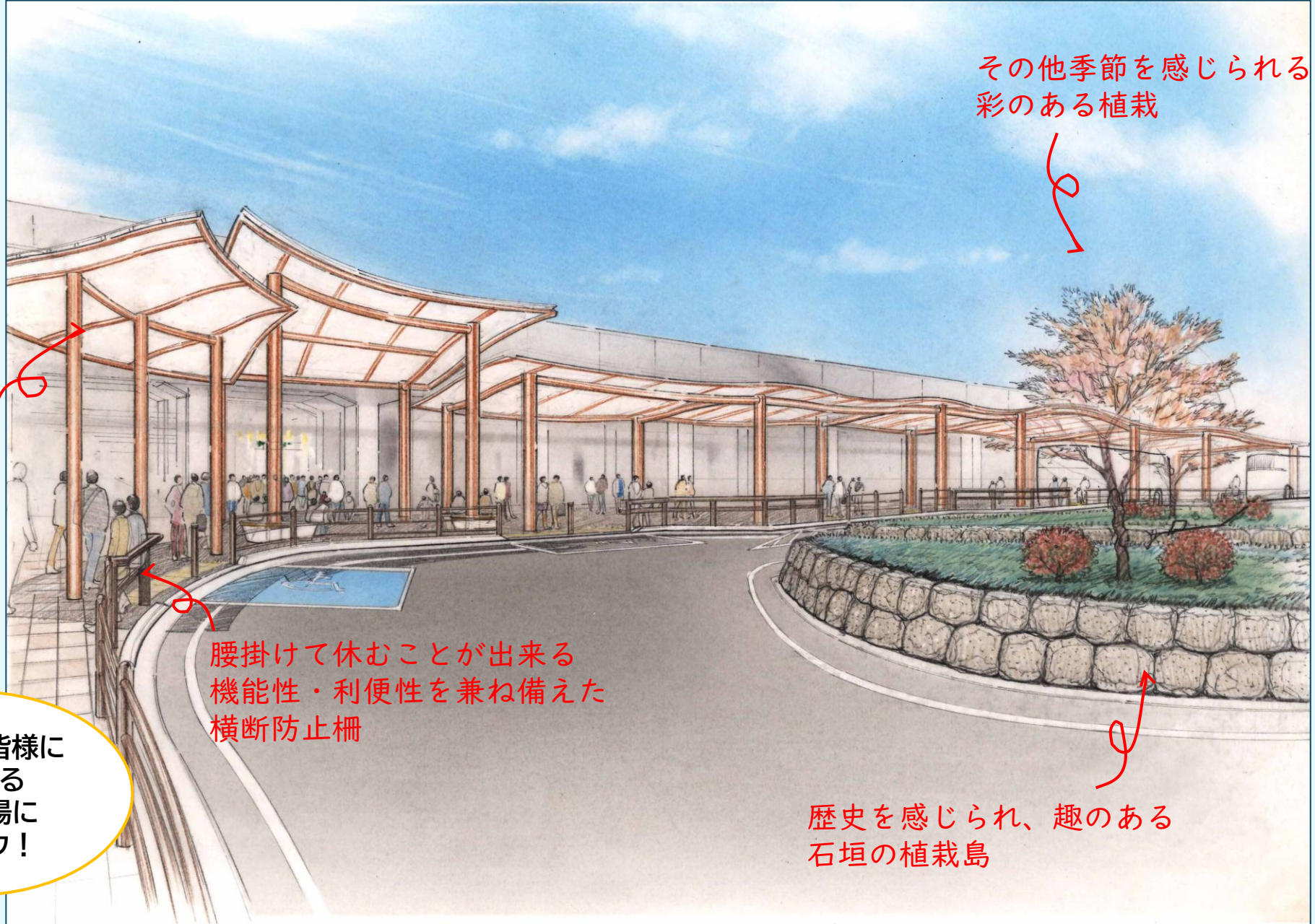
①シェルター	《材質》金属系の屋根と木材の天井の組み合わせ ⇒日よけ効果が期待 ※視察アンケートで提案あり。 《イメージ》おしゃれでスマート
②ベンチ	《材質》木製のスツールを配置 《イメージ》緑と調和して自然に溶け込む
③植栽	《イメージ》彩ゆたかな緑 例：モミジ・ヤブラン・芝・リュウノヒゲ・コクリュウ ・オタフクナンテン・ハツユキカズラなど
④横断防止柵	《イメージ》シンプルでスタイリッシュ
⑤歩道舗装	《材質》インターロッキングブロック 《イメージ》爽やかに明るい印象を与える色合い
⑥交通島	《材質》シンプルな歩道ブロック 《イメージ》スマートで明るい印象

デザインコンセプト（見直し案）の作成 ～地域に寄り添う安らぎと癒し溢れるデザイン～

第41回土地区画整理審議会（令和7年12月19日開催）でいただいた意見を基に見直し案を作成しました。

今後は、本デザインコンセプトをベースにして、より詳細に横断防止柵やインターロッキングブロック等の各施設を選定し、使いやすく居心地の良い、皆様に愛着を抱いていただけるような駅前広場にするために検討いたします。

- ・茶色の柱を基調とした大屋根
- ・馬が草原を駆けるような躍動感のある曲線の特徴とした形状
- ・素材に膜を採用することで夏の厳しい日差しを受け止め、日差しの弱い冬場でも白い膜が明るい印象を与えてくれる。



その他季節を感じられる彩のある植栽

腰掛けて休むことが出来る機能性・利便性を兼ね備えた横断防止柵

歴史を感じられ、趣のある石垣の植栽島

利用する皆様に喜ばれる駅前広場にするゾウ!



3Dモデルデータの作成

現在、大屋根・インターロッキングブロック・横断防止柵等の選定を終え、それらを立体的な図面『3Dモデルデータ』に配置しました。これにより、実際に出来上がった駅前広場に降り立ったかのような、平面図にはない奥行きを付けたリアルな表現が可能です。

また、「歩道や車道の広さ」「大屋根の曲線形状や厚み・質感」「1日の太陽の当たり方や影の伸び方」「夜間の照明灯の明るさ」等を可視化できるため、完成前に様々な工夫が検討でき、問題点も未然に気づくことが可能です。



イメージパース図(手描きイラスト)



3Dモデルデータ



早朝



夜間

3Dモデルデータを活用したイメージ動画を公開します

基本設計の最終成果として、3Dモデルデータを活用したイメージ動画を新座市公式YouTubeに公開する予定です。本映像は完成した駅前広場に実際に降り立ったような視点で臨場感のある映像となっています。
※公開時には別途ホームページにてお知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

新座駅北口駅前広場実施設計業務の着手について

基本設計完了後、整備工事に向けた本格的な設計を進めて行くために新座駅北口駅前広場実施設計業務を発注する予定です。実施設計では、基本設計よりも詳細な数量や金額の算定・大屋根の構造計算・施工方法などに関する設計を行います。また、実施設計においても業務の進捗や成果などを公開していきますので、ぜひチェックしてください。

